

町の生活情報紙

— HIDE PUBLIC RELATIONS —

広報いいいで

5

16, May
2013
Vol.1034

ツバ
ク
シ
ス
イ
セ
ン
と
ぼ
く

ば
あ
ち
ゃ
ん
な
ら
だ
い



写真／中津川地区住民による水仙ロード
の手入れ作業。新一年生も一緒に作業。
興味があるのはツクシかな

- 03 特集◎源流の責務
～きれいな水を川に返すために～
- 08 地区公民館の事業計画
中部地区・白樺地区・東部地区・西部地区・中津川地区
- 10 にぎわい再現プロジェクト委員会第3期スタート
- 11 町アルペンスキー界のホープ「宇津木奎俊君」
- 12 いいで天文台「キラキラドーム」オープン
- 13 パブリックコメント「町観光基本計画」
- 14 まちかどNEWS
町内各小学校で交通安全教室／さぎ草栽培講習会／町消防団辞令交付式ほか
- 16 まちかどスナップショット
- 17 表彰者の紹介
- 18 直伝おふくろの味
- 19 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 20 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 21 健康ikiikiプラス
- 22 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 24 町宝いいで ダイジェスト

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。
大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。
どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



the most beautiful
villages
in japan

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。
これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の

表紙

総延長は10km。育て守り 続けた水仙の花回廊



肌寒さの残るなか、水仙の手入れをする中津川地区の方々

4月28日、中津川地区で水仙ロードの手入れ作業が行われました。総延長が10kmに及ぶため、旧中津川小・中学校を境に、東と西の2区間に分け、毎年交互に手入れを行っています。水仙ロードは昭和50年代に、白川ダムの湖底に沈む民家の庭先に咲いていた水仙の花を、街道沿いに植え替えたのが始まりです。満開になると、道路の両脇に鮮やかな黄色い花が咲き誇ります。



特 集

源流の責務 ～きれいな水を川に返すために～

水は、私たちが生活するために欠くことのできないものです。水も使えば汚れます。利用後の水は、置賜白川に流され、やがて最上川に合流し日本海へ注ぎます。県を縦断する最上川の水は、流域の市町村でさまざまに利用されています。

山形県の母なる川「最上川」の源流に位置する本町にとって、水をきれいにして川に返すことは、責務です。

町の污水处理の状況をお知らせします。

写真／長瀬橋から撮影した置賜白川と飯豊山

きれいな水を

川に返すために

山形県の母なる川「最上川」の源流に位置する本町。
だからこそ知っておきたい、私たちの排水の行方、
川下での水利用の現状、そして町の污水处理への取り組み。

排水口の 向こう側を 知る

源流の責務

飯豊町は、飯豊連峰の広大なすそ野と豊かな田園地帯を有し、最上川の源流の一つ置賜白川が南北に縦断して流れています。自然環境に恵まれているものの、かつては、河川や排水路に家庭から未処理の生活排水が流され、ごみの不法投棄などにより水質低下や水環境が悪化していました。

また、置賜白川に流れた排水は、やがて最上川に合流します。最上川水系の利水状況は、約63%が発電用水、36%が農地へのかんがい用水、1%が飲み水の上下用です。町の水質改善、水浄化への取り組みは、最上川流域の山形県民の生活向上、安全で安心な農産物生産に不可欠な行動と言えます。

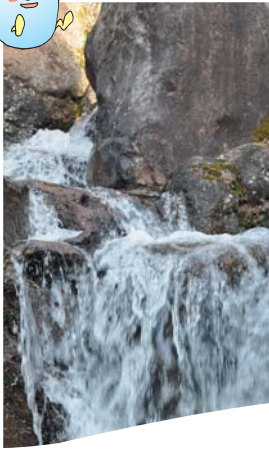
最上川の汚れ

最上川の汚れはどこから来るのでしょうか。かつては、水質汚染といえば真つ先に工場や事業場の排水が挙げられました。しかし、法律の規制や企業の社会的責任などにより現在では、家庭からの排水が主要因となっています。「最上川流域に係る生活排水対策推進計画」によると、長井橋地点での汚れの原因は51%が家庭からの排水です。工場・事業場、畜産、農業などを合わせても44%です。

家庭からの排水

人は1日250ℓの水を使います。家庭の台所、風呂、洗濯、トイレなどからの排水を「生活排水」と呼び、生活排水からトイレの排水を除いたものを「生活雑排水」といいます。生活排水250ℓに含まれる汚れをBODで表わすと43mgです。内訳は、生活雑排水は30mg、トイレ排水は13mgです。BODとは、微生物などが水の汚れを分解する際に使う酸素の量です。水質汚濁の指標の1つとして用いられ、数値が高いほど汚れがひどいことを表します。





污水处理施設の種類

污水处理施設を大別すると「集合処理施設」と、「個別処理施設」の2種類です。

集合処理施設とは、各家庭や事業所などからの汚水を、排水管を通して下水道施設や農業集落排水処理施設（農集排施設）などに集めて、一括処理する施設です。個別処理施設とは、家庭や事業所ごとに合併処理浄化槽を設置して、個別に汚水を処理する施設です。

一般的に、集合処理施設は家屋が密集した集落などに適し、個別処理施設は山間部や住宅がまばらな地域で用いられます。行政区が同じでも、住んでいる地区の住宅密集度や地形、集合処理施設までの距離などによって集合処理該当区域になる場合とそうでない場合があります。

かつて浄化槽は、トイレ排水のみを処理する「単独処理浄化槽」と、トイレに加え、生活雑排水も処理する能力を兼ね備えた「合併処理浄化槽」がありました。平成13年に、単独処理浄化槽の新設が禁止されました。

污水处理の取り組み

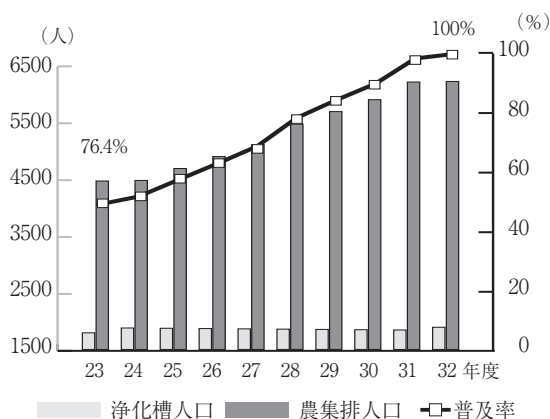
町では、農集排施設と浄化槽

によって污水处理を行っています。どちらの処理方法になっても、利用者間の負担に大差が生じないように経済的かつ効率的に進めています。

第4次飯豊町総合計画では、平成32年度までに、污水处理人口普及率を100%とする目標を掲げています。平成23年度末における当町の普及率は、76・4%。県の88・1%、全国の87・6%に比べてまだ低い状況です。

先月12日、町内6カ所目となる農集排施設が、添川地内に完成しました。そして、施設に汚水を流すための排水本管敷設工事の第1期（上代、昭和、東山の一部を除いた添川地内）が終わりました。第1期エリア内の各戸の宅内排水配管と排水本管が接続されると、污水处理人口普及率90・3%となります。今後、第2期工事として上代、昭和、東山の一部に、排水本管が敷設されると93・0%になります。さらに、手ノ子地区に建設を計画している農集排施設が完成すると、その割合は99・3%に高まる見込みです。平行して、浄化槽設置を進め、普及率100%を目指しています。

污水处理人口と普及率（予定）

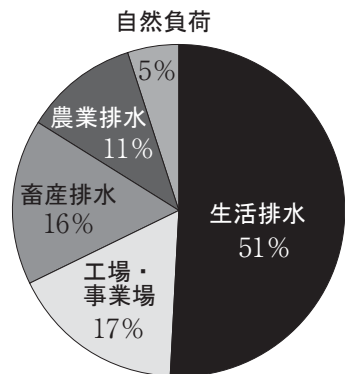


最上川水系利水状況

利水の目的	取水量 (m ³ /s)	割合
上水道	5.092	0.9%
鉱工業用水	1.353	0.2%
かんがい用水(許可)	201.574	35.8%
発電用水	353.087	62.6%
その他	2.593	0.5%
計	563.699	100%

最上川水系河川整備計画より。2001年9月時点。かんがい用水は許可水利権による

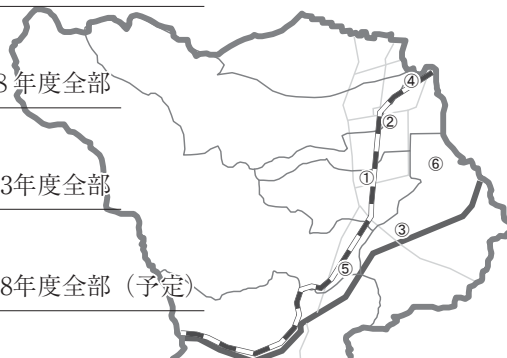
川の汚れの原因



農業集落排水処理施設 現在6施設あり、手ノ子地区に7施設目を建設予定



処理施設	処理人口	供用開始年度(すべて平成)
①椿	2,400	2年度
②菽生	2,370	6年度一部。8年度全部
③松原	760	9年度
④中(所在は黒沢)	1,800	12年度一部。13年度全部
⑤小白川	550	18年度
⑥添川	1,110	25年度一部。28年度全部(予定)
手ノ子	940	31年度(予定)



※④中の処理施設では、中地区と中ノ目北(菽生)と坪沼(黒沢)の汚水を処理しています。
手ノ子の処理施設では、手ノ子地区と西向(高峰)の排水を処理する予定です

◆工事費、維持管理費の分担

- 町は農集排水処理施設と排水本管を設置します。その維持管理は、地域の方々に組織する維持管理組合や専門業者に委託しています
- 農集排区域の方は、住宅から公共マスまでの排水管などの設置と維持管理を行います

◆分担金／農集排施設建設費の一部を農集排区域の方に負担いただきます

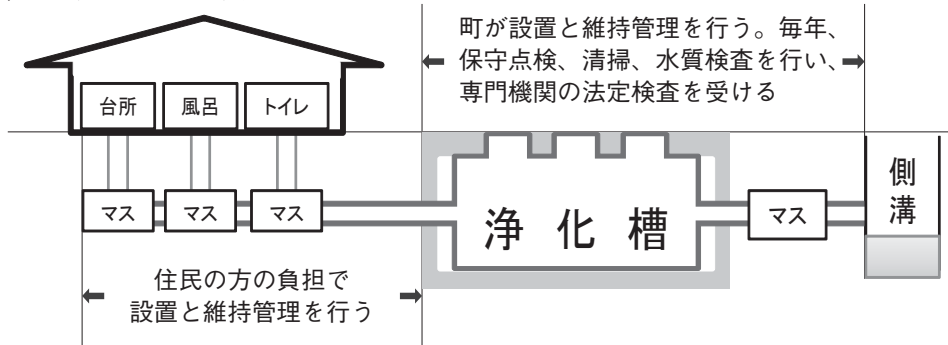
◆使用料／下記の合併処理浄化槽の使用料と同額

◆その他／トイレの水洗化工事には、融資あっせんや利子補給制度があります

合併処理浄化槽

トイレ排水と生活雑排水を併せて処理する浄化槽

◆工事費、維持管理費の分担



◆分担金／浄化槽設置費の一部を住民の方に負担いただきます

浄化槽の大きさ	分担金額
5～10人槽	20万円 (県から10万円の補助あり)
11～50人槽	町長が別に定める

◆使用料

基本料金	超過料金(1㎡につき)	
	汚水量	金額
10㎡まで	11～100㎡	147円
1,470円	101㎡以上	157円

◆その他

- トイレの水洗化工事には、融資あっせんや利子補給制度があります
- 農集排事業計画区域内で、3年以上供用が見込まれない地区にお住まいの方が、合併浄化槽を設置する場合は別制度で対応します。詳しくは地域整備課まで



汚水処理施設

町は、「農業集落排水処理施設」と、「合併処理浄化槽」による汚水処理を進めています。それぞれの概要をご覧ください。





農集排の歴史と今…

町では、生活排水を浄化するため取り組んできた農業集落排水事業。昭和61年に着工した椿地区を皮切りに、以降、萩生、松原、中、小白川、添川地区（1期区域）で施設を整備してきました。今後も添川地区（2期区域）と手ノ子地区（高峰西向を含む）での施設整備を進める予定です。

農集排事業の歴史を知る宇津木敦さん（萩生）から当時の状況とともに、事業がもたらした成果と課題についてお話を伺いました。

萩生地区の農業集落排水施設は、平成3年に建設着工、平成6年に一部供用開始、平成8年に全部供用されました。農集排施設ができる前は、生活排水は道路側溝などに流しており、そのため、生活排水から漂う悪臭が、地域の大きな問題でした。今でも覚えていますが、一番ひどかったときは、苗代時期に苗床の表面に汚水がかかって芽が出ないといったことがありました。

「きれいな水を田んぼに流したい、きれいな水が流れる地域で生活したい」との地域住民の思いを受けて、地域の役員で町に相談したところ、当時の町長に「農集排整備には、地域住民の同意を得てほしい」と依頼されました。早速、手分けして地域の方から同意を得て、再度町に整備を依頼し承諾を得ました。地域の同意は100%、反対者は1人もいませんでした。反対する人がいればできない事業だと地域のみんなが理解していた結果だと思っています。

農集排の排水本管と各家庭の排水管をつなぐための工事説明会を開くと、女性の出席率が高く、質問される方も女性が多かった。生活に密着したことだからそれだけ関心も高かったのです。

農集排のおかげで、トイレは水洗になり、臭いもなく虫も出ない、

反対する人がいればできない事業 地域住民の100%の同意を得る

側溝の水もきれいなになりました。何より「きれいな水を川に返している」との気持ち良さがありません。良い面ばかりではありません。町と維持管理組合で農集排の加入エリアを決めましたが、エリアに入れない方が不満を抱いたことは事実です。合併浄化槽での対応をお願いしましたが、理解を得るのに苦労しました。

また、農集排施設から悪臭が漂い、周辺住民の方にはストレスを強いる状況がございました。平成22、23年度に機器の一部が高性能なものに更新されたことと、維持管理組合でも丁寧な掃除を行っていただくことで、臭気もほとんど気にならなくなりました。

今後も、現在の維持管理組合の方々には施設の適正な維持管理をお願いし、我々も、水環境に優しい暮らしで、きれいな水を次世代に継承していきたいものです。



元萩生地区農業集落排水処理施設維持管理組合庶務

宇津木 敦さん

うつぎ・あつし ▶ 1934年10月生まれ ▶ 萩生在住 ▶ 平成2年～15年まで萩生地区農業集落排水処理施設維持管理組合庶務 ▶ 昭和55～平成18年まで萩生区協議会庶務 ▶ 平成14～18年まで萩生財産区委員長 ▶ 昭和47～61年まで民生委員児童委員 ▶ その他に、萩生町3組納税組合長、白川土地改良区総代・理事、野川土地改良区右岸管理組合などを長年務める

平成25年度

地区公民館の事業計画

地域の活性化と生涯学習の振興を目指して

各地区公民館では、それぞれの地域の特色を生かしながら、地域の活性化と生涯学習の振興を目指した事業を展開しています。

ここでは、平成25年度の事業計画の中から主なものを抜粋して紹介していますが、そのほかにも幅広い年齢層に合わせた様々な事業が計画されていますので、ぜひ多くの住民の皆さんが参加し、地区公民館を拠点として地域を盛り上げていきましょう。

各地区公民館の最新情報はホームページから<http://iide-kouminkan.jp>

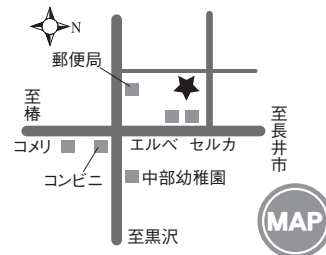


中部地区公民館

地域のコミュニティづくりの拠点として、地域住民主体の運営活動を支援するとともに、社会教育の推進を図り、地域づくり、健康づくりを行います。



船山吉丸 佐藤正俊 嶋貴恵



スタッフ

公民館長
佐藤正俊（萩生）
運営委員会事務局職員
船山吉丸（中）
嶋貴恵（中）

連絡先

大字萩生3548
TEL72-2126
FAX72-3550
✉tyubuko@e.jan.ne.jp

主な事業計画

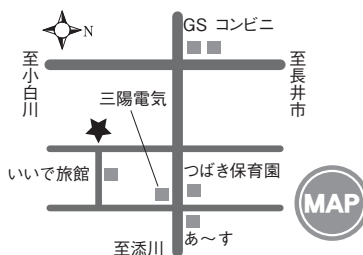
事業	内容	時期
かかし祭り	子ども会育成会、分館、各地区協議会など地域の各団体から協力や出展をいただき、協同作業の教育を実践	8月17日～
しろあと教室（高齢者教室）	研修会、ボランティア、かかし祭り参加、作品制作、グラウンドゴルフ大会、しろあと文集制作など	年間
婦人学級	研修会、ボランティア、クリスマス会、生け花、茶会、講演会、かかし祭り出展、文化祭出展など	年間
ゆり写生大会	ゆり公園などでゆりの写生大会を行う。後日審査会・表彰を行う	7月7日

白樫地区公民館

時代の流れを直視し、地域住民との総合理解を深めながら地域活性化を目指します。



鈴木孝 佐原正 川崎てい子



スタッフ

公民館長
佐原正（椿）
運営委員会事務局職員
鈴木孝（小白川）
川崎てい子（椿）

連絡先

大字椿1902-4
TEL72-2242
FAX72-3551
✉tubakiko@e.jan.ne.jp

主な事業計画

事業	内容	時期
白樫地区新生活運動（分館連）	ムリ、ムダ、ムラをなくす虚礼廃止運動に加え、高齢者や一人暮らしの方とのコミュニケーションを増やそうと声掛け運動『えやっただが運動』の推進	年間
白樫地区リサイクル会	環境にやさしい廃油リサイクル石鹸活用の推進、無農薬野菜作りの普及活動推進に取り組む	年間
芸術文化	芸術文化に親しみながら教養を高め、心豊かな優れた文化の地区を目指す。文化祭開催や川柳など	年間
社会体育	健康と体力作り、地域の連携意識高揚を目指し、スポーツクラブ等関連事業と連携した運動の日常化を目指す	年間

東部地区公民館

経済的・文化的・健康的に、暮らしを豊かにする知恵と力が身に付くような生涯学習を展開し、自立・共生・協働の実践を通じて、進んで地域づくりに取り組む人材育成を目指します。



樋口兼利 遠藤和芳 遠藤節子

スタッフ

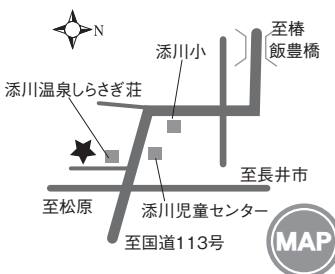
公民館長
遠藤和芳（添川）
運営委員会事務局職員
樋口兼利（添川）
遠藤節子（添川）

連絡先

大字添川2955
☎74-2447
☎87-0447
✉toubuko@e.jan.ne.jp

主な事業計画

事業	内容	時期
高齢者教室	健康的で明るく豊かな人生を過ごすための学習会を開催する	7月
地区・小学校 合同大運動会	地区住民と小学校が一堂に会し、健康、体力づくりを目指すと共に、住民と学校との交流、親睦を深める	9月
地域理解学習会	東部資源を再認識することで地区の誇りとアイデンティティの増進を図る	11月
添川温泉 ふるさと祭り	住民が一堂に会し、地域の連帯感と活性化を図る	8月14日



西部地区公民館

世代を超えた交流親睦の場、住民に最も身近な生涯学習の場、そして、地域情報の受発信の場となる公民館運営を目指します。



高橋孝 五十嵐眞 巻坂恵美子

スタッフ

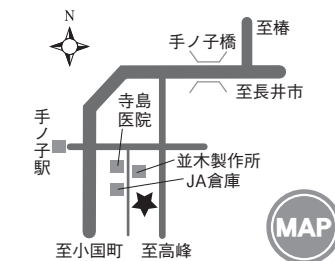
公民館長
五十嵐眞（手ノ子）
運営委員会事務局職員
高橋孝（高峰）
巻坂恵美子（手ノ子）

連絡先

大字手ノ子2861-1
☎75-2111
☎75-2273
✉seibuko@e.jan.ne.jp

主な事業計画

事業	内容	時期
体育スポーツの 振興	スポーツを通して地区住民の健康、体力作りを図り交流親睦を深めながら活力のある地域作りを目指す。西部スキー教室など	年間
婦人教室 さわやかクラブ	学習を通じて広く教養を高めると共に健康で明るい家庭の推進、楽しい仲間づくりを目指す	年間
ふるさと学園	高齢者の地域社会への積極的な参加と生涯学習に取り組む。また、子どもたちとの交流を通じて地域文化の伝承に努める	年間
芸術文化	発表の場を提供し、創作・活動意欲の高揚を図り、地域住民総参加を目指す	年間



中津川地区公民館

「みんなが集う公民館」の運営方針のもと、個性・能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を享受できるよう応援します。また、各種団体の交流と連携により、地域環境の改善を目指します。



細川由貴 大友俊治 伊藤ふみ

スタッフ

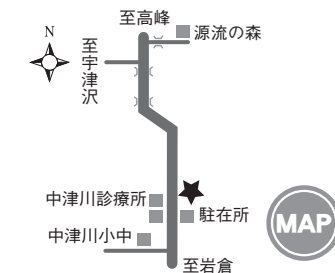
公民館長
大友俊治（川内戸）
運営委員会事務局職員
伊藤ふみ（岩倉）
細川由貴（上原）

連絡先

大字上原469
☎77-2020
☎77-2121
✉apurekou@e.jan.ne.jp

主な事業計画

事業	内容	時期
情報の提供活動	地域づくりの多岐にわたる情報の発信基地として定期的な館報「あぷれ」の発行	年間
地域に根ざす青年・女性団体の活動の推進	積極的に地域づくり活動に参画できる環境づくりや、学習の場を提供	年間
子どもから高齢者までを巻き込んだ健康づくり事業	「子どもは地域の宝、賑わいの拠点」を合言葉に、世代を超えて交流ができる健康づくり事業の実施	秋
生涯学習拠点施設として活用の事業	幼児から高齢者まで施設の活用を推進し、地域の基幹施設としての役割を果たす	年間



梅津良徳
萩生

佐藤和穂
中

川崎光
椿

渡部雅基
白川

高橋弘司
岩倉

佐藤仁史
中

長岡恒平
中



二瓶綾
小白川

細川由貴
上原

島貫香織副委員長
萩生

安部宗和委員長
小白川

木村朋弥副委員長
椿

斎藤巧
椿

梅津拓郎
萩生

にぎわい再現プロジェクト委員会 第3期スタート

4月30日、あゝすで、第3期となる「にぎわい再現プロジェクト委員会」の初会合が、退任する2期メンバーを交えて開かれました。協議に先立ち後藤町長は、「志を持った若者が、人を感動させ大きなうねりを生み出せる。共に町を動かしましょう」と期待を込めてあいさつ。

退任する2期メンバーを代表して渡部雄市前委員長は、「同じ思いを持った者同士、情熱を注ぎ、感動のある事業を行ってほしい」と3期メンバーを鼓舞しました。協議により、委員長には安部宗和さん(小白川)、副委員長には木村朋弥さん(椿)と島貫香織さん(萩生)が選出されました。安部委員長と、木村副委員長は、2期からのメンバー。

安部委員長は「集い、語り合いたくなる委員会運営を目指します」と運営方針を述べました。

3期メンバーは、公募で集まった町内在住の14名。2期から8名が継続参画。彼らは、任期2年の中で、自由な発想で語り合い、にぎわい再現に向けて活動する。

第1期 平成21～22年度

メンバーは「にぎわい」という大きなテーマに戸惑いながらも議論を重ねた末、にぎわいとは「自分たちで課題を見つけ、解決のため挑戦すること」という結論を導き出した。

Challenge

主な活動

- ・町の将来を洋上で語る「いいで未来号」
- ・昭和のにぎわいを再現し、当時を知る年配の方から子どもまで広く楽しめる「復刻版！椿劇場」
- ・ウォーキングの場と機会を提供する「てくてくらぶ」

第2期 平成23～24年度

第1期の活動や結論に2期生の思いやアイデアを付加して、町内外の若者と積極的に関わり合い交流の輪を広げながら、話し合いで終わることなく活動として具現化した。

Action

主な活動

- ・「いいで未来号」
- ・「復刻版！椿劇場」
- ・笑顔をテーマとした「1000スマイルモザイクアート」
- ・恋活イベント「いいでDEいいで愛」
- ・若者同士が交流する機会「若者団体の集い」
- ・雪を活用した「スノースマイル」

ドリームキッズ

宇津木

奎俊けいと



写真/第7回全国小学生アルペンスキー大会 提供/株式会社PHOTOFREAKS

第7回全国小学生アルペンスキー大会 第2位

町アルペンスキー界のホープ誕生

3月20日から3月22日にかけて岩手県の安比高原スキー場で行われた「第7回全国小学生アルペンスキー大会」で、飯豊ジュニアレーシングチームの宇津木奎俊君(中)が小学4年生男子の部で第2位の好成績を収めました。

今年4月から5年生になった奎俊君は、3人兄弟の次男。スキーに興味を持ったのは、父と兄の影響。兄の拓海君も飯豊ジュニアレーシングチーム(國分充監督代行)に所属し、全国大会出場経験を持つ。父の敦さんもスキーの愛好者。スキーシーズンが始まると、子どもたちを毎日のように手ノ子スキー場に連れて行く。「奎俊のスキー技術は、手ノ子スキー場で磨かれた」と敦さんは話す。

大会には、いつも敦さんと母の晴美さんが付き添って応援。「万全の準備でスタートラインに立つことが、安心をもたらす」と、敦さんの教え。滑走前のワックスがけや、緊張をほぐすためスタート前に体を大きく動かすのも敦さんからのアドバイス。父に全幅の信頼を寄せている。

敦さんは「成長を見守りながら適時のアドバイスを心がけています。奎俊にとって、年の近い兄の拓海が良い見本でありコーチ役にもなっているようです。私よりアドバイスは適切かも」と笑う。

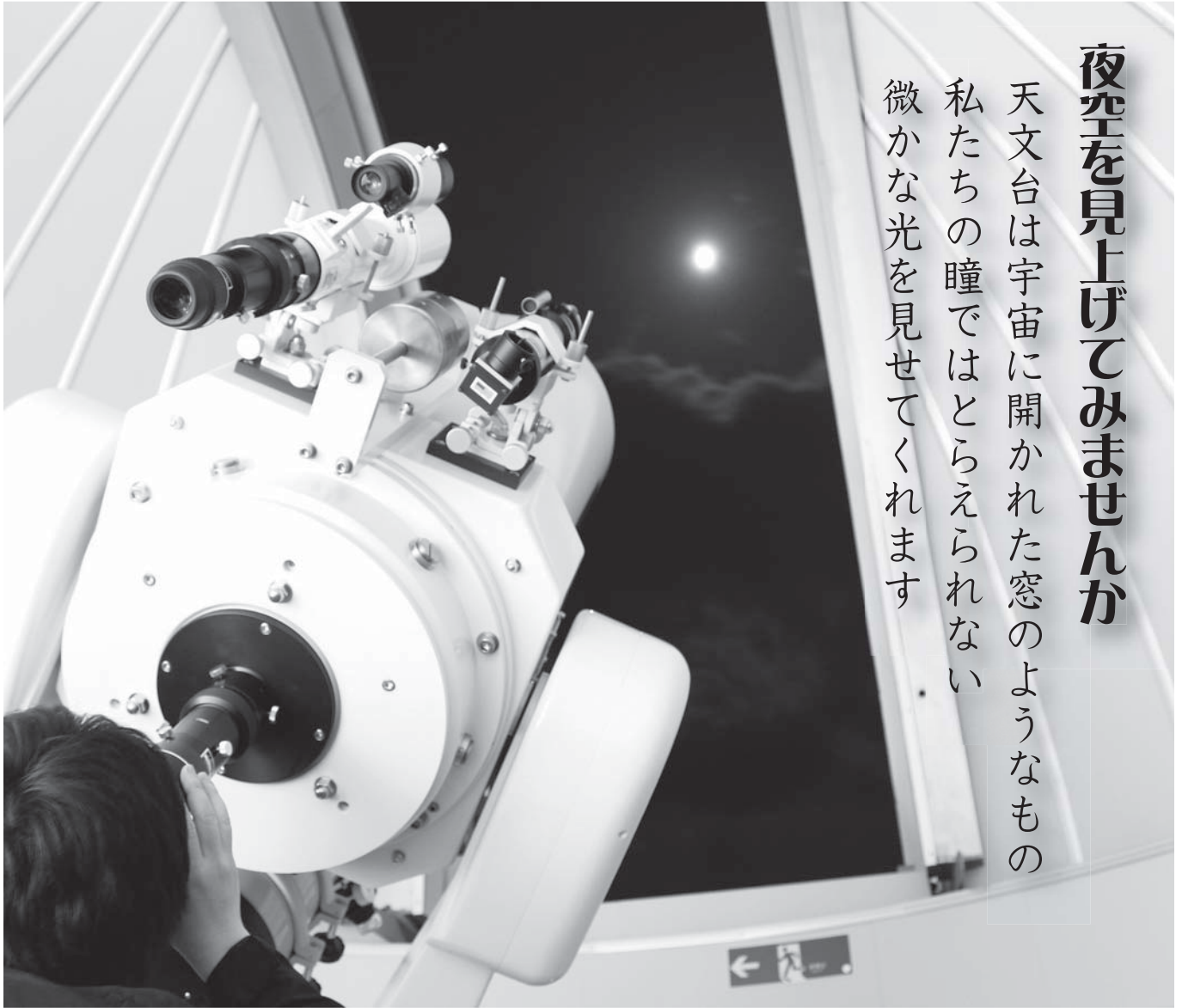
強さの理由は、父の教えとライバルの存在

今シーズンの活躍の理由を「ライバルに出会ったから」と奎俊君は話す。3年生の時に開催された山形県大会。既に非凡な才能を開花させ、優勝が当然と思われていたころの大会だった。結果は、大会ルールで参加可能だった県外選手が優勝。「全国にはお前より早いやつがいる」と、國分監督代行。その瞬間、闘志に火がつき、慢心が挑戦に変わった。チームメイトと競い合い、刺激し合いながら、コンマ単位でタイムを削る練習が始まった。努力が実り、昨年度の大会ではコンスタントに上位に入るパフォーマンスを發揮。奎俊君のさらなる活躍に、期待が膨らみます。



ドリームキッズのトレーニングウェア姿の奎俊君

うつぎ・けいと▶2002年4月生まれ▶中在住▶身長136cm 体重30kg▶山形県スポーツタレント発掘事業「YAMAGATAドリームキッズ」の第4期生。町では初のドリームキッズ。●「ドリームキッズ」とは、子どもたちのスポーツの可能性を見だし、国際大会や全国トップレベルの大会で活躍できるアスリートの育成などを目指す県主催の事業。日本オリンピック委員会や国立スポーツ科学センター、体育大学と連携し、県内の競技団体と協力しながら育成プログラムを展開。



夜空を見上げてみませんか

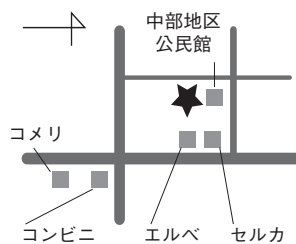
天文台は宇宙に開かれた窓のようなもの
私たちの瞳ではとらえられない
微かな光を見せてくれます

◎ご利用案内

開館：原則、毎週土曜日19:00～20:30（晴れの日のみ）
 ※ただし、月1回は休館となります。6月8日、7月13日、
 8月24日、9月21日、10月26日、11月23日です。
 ※6月15日～8月10日は、開始と終了が30分遅くなります。
 ※天文現象があるときなども開館を計画しています。

予約：2名以上のグループで予約いただくと上記以外の開館も可能です。

利用料金	個人	団体
中学生以上	200円	150円
小学生	150円	100円
乳幼児	無料	



◎天文紹介

いいで天文台で一番人気の天体は、おなじみのお月さまです。毎夜姿を変える不思議さが魅力です。また、望遠鏡で見る雄大なクレーターは圧巻です。二番人気は土星。大きく開いた土星のリングの美しさは天体の中でも特別なものです。今年は例年より長期間観察でき、8月頃まで見るができます。

さて、今年の天文現象の目玉は、今世紀最大の^{さいざい}彗星になるとも言われる「アイソン彗星」です。11月～12月が見ごろです。

◎募集

- ・小学生を対象とした「こども天文クラブ」の会員を募集しています。天文台や4次元宇宙シアタールームを活用して年間7回の観察会や見学などを計画しています。
- ・ボランティアスタッフを募集しています。望遠鏡の操作や星空案内などを行います。

「飯豊町観光基本計画」へのご意見募集

観光や交流は、人の移動や交流行動に伴い、にぎわいを生み出し、消費行動による直接的な経済効果とともに、間接的に各産業への経済波及効果があります。

そのため、町は観光に関する基本計画の作成を進めています。このたび計画の骨子案がまとまりました。計画期間は平成28年度までです。

より良い計画にするために、ご意見をお寄せください。詳細は町ホームページをご覧ください。

計 画 の 概 要

町の観光課題

- 観光業は厳しい環境にある
- 観光や交流人口拡大への関心度合に地域間格差がある
- 町の資源を生かしきれていない
- 民間の観光事業者などとの連携が不足している

計画目標

住民とともに進める「にぎわいと交流」のまちづくり

目標実現への3テーマ

- | | | |
|--|---|---|
| ①全国の人を引き付ける飯豊
体験と交流を提供する「場としくみ」づくりと連携 | ②にぎわいと活気あふれる飯豊
交流をともし町のにぎわいと産業間の連携から活力向上 | ③おもてなしの心に満ちた飯豊
人材の育成と親切なまちづくりを進め飯豊ファンづくり |
|--|---|---|

テーマに基づいて計画している5事業

まると交流のまちづくり

大規模林道飯豊松枝岐線の開通を生かした受け入れ環境整備と各種プロモーション活動の推進

- 山・里の駅などを検討し情報発信と町内滞在を誘発する仕組みの検討
- 町全体の案内表示計画の検討
- 飲食休憩ができ、街歩きができる空間づくり

町のへそづくりプロジェクト

交流客を拡大するために集客力のあるイベントや経済効果を生み出す商品の開発やシステムと拠点づくりを進める

- 四季の収穫祭や日曜市など地域特産品を活かしたイベントの開催
- 町循環バスの運行による交流とアピール
- 名物料理などを創出するための仕組みづくり

1地域1交流プログラム

各地区で交流プログラムや場づくりを進め賑わいの回復と観光交流への理解を高める

- 町内各地区の資源を活かした交流プログラムの開発支援を行い、交流を進める
- 全町での蛸祭りや盆踊り大会など、各地のプログラムが連携し資源化を図る

飯豊型農都交流ツーリズム推進プロジェクト

新しい観光と地域再生の試みとして期待される都市企業などとの交流の深化を図り、モデルとなる取り組みに発展させる

- 連携企業の拡大から地域課題の解決に向けた共同作業のスタイル確立
- 飯豊モデルとして新たな交流拡大につなげる

集客・交流のための情報提供システムの再構築

魅力ある資源やプログラムの発信力の整備を進めりピーターをつくる

- 各種媒体を使った積極的な情報発信
- 話題づくりを進めマスコミ報道を使った情報発信

観光課題解決と、事業推進に必要な3つの下地

①交流の町を担う人材の育成と確保する仕組み

- おもてなし講座、飯豊検定などによる意識づくり
- めざまみの里案内人などボランティア人材の育成
- ツアーリスト支援員の検討

②交流のまちを推進する町民会議の発足

- 若者や町民全体で推進する体制づくり
- 綺麗な街並みをつくったり、おもてなしの体制を確認し合います

③町内の移動を容易にする交通システム

- イベントバスや来訪者が利用できる公共交通の検討
- レンタサイクル、レンタカーシステムの検討

その他

募集期限／5月31日(金) 17:15まで

募集方法／電話、FAX、郵便、Eメールでご意見をお寄せください

☎72-2111 (内線266) ☎72-3827 ✉i-kankou@town.iide.yamagata.jp

〒999-0696 飯豊町大字椿2888番地 飯豊町役場商工観光課観光交流室

ご意見への返答／ご意見を踏まえて策定する計画の公表をもって返答に代えさせていただきます。ご了承ください

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課情報防災室まで ☎72-2111内線232



町内各小学校で交通安全教室

交通のルールを学んで命を守る

4月12日から26日に、町内各小学校で交通安全教室が行われ、子どもたちは安全な歩行や自転車の正しい乗り方などを学びました。毎年、子どもたちの行動が活発になる、ゴールデンウィーク G Wを前に行われています。15日の添川小学校では、1年生は学校周辺の通学路を歩き、2・3年生は学校の駐車場で、4年生以上は路上で、自転車に乗って行われました。路上の注意が必要な個所には、交通安全協会各支部員や保護者、教職員などが立哨し、安全に配慮して行われました。

町消防団辞令交付式

消防職務遂行の決意



4月7日、あ～すで「町消防団辞令交付式」が行われました。式には、消防団幹部や団員など約100名が出席。田辺隆団長から異動された団員に辞令が交付されました。今年度は18名が退団し、29名が新たに入団。団員の総数は419名(昨年度408)となりました。式中、新入団員を代表して第1分団第4部第2班の佐藤和穂さん(中)が、「良心に従って忠実に消防職務の遂行にあたります」と力強く宣誓されました。

さぎ草栽培講習会

経験に勝る教科書なし



4月6日、東部地区公民館で、さぎ草愛好会(小笠原源之助会長)による「さぎ草栽培講習会」が行われました。会員の栽培技術向上と、愛好者を増やすことを目的に7年ぶりの開催。会員と地域の方ら計12名が参加しました。小笠原会長が、経験に基づいた植え付けを実演し、初心者に向けて「乾燥しないように毎日水を与えてください。苦勞する分、純白の花が咲いた時の喜びはひとしおですよ」と話していました。



飯豊町ゲートボール連合会「審判実技講習会」

審判技術を学び、プレーに生かす

4月25日、添川温泉しらさぎ荘前のゲートボール場で、飯豊町ゲートボール連合会(志田清会長)が、審判実技講習会を行いました。講習会では、会員内で上級の審判資格を有する者が講師となって、指導に当たる。この日は会員30名が参加し、うち4名が講師役。受講した会員たちは、ゲーム中の審判の立ち位置や所作、選手への指示の仕方などを学んだ後、実技練習として模擬ゲームを取り仕切りました。時折、講師に確認しながら、審判技術の習得に励んでいました。

わくわく♪おはなし広場

遊ぼう、作ろう、楽しもう



4月28日、こどもみらい館で、あ〜す図書室の企画による「わくわく♪おはなし広場」が開かれました。親子ら21名が参加し、手遊びや絵本の読み聞かせを楽しんだほか、「イチゴ畑」の工作に挑戦。見本通りのものや、たくさん実を付けたものなど、材料は同じでも出来上がった作品は個性豊か。この日は、サプライズで女声合唱団「コラル・ド・めざみ」も登場し、歌声を披露。参加者たちは、盛りだくさんの内容に大満足の様子でした。

緑のふるさと協力隊が本町に着任

派遣先の第一希望は飯豊町



4月11日、NPO法人地球緑化センター(東京都)が派遣する「緑のふるさと協力隊」として、阪井達也さん(大阪市)が本町に着任しました。中津川地区を拠点に、農林業や地域活動に参画し、町内外への情報発信など地域おこしを手伝います。後藤町長から委嘱状が交付されると、阪井さんは「農山村生活を楽しんでいる姿を積極的に情報発信していきたいです」と意欲を語りました。



農林産物直売所「ふるさとショップ」オープン

生産・販売の意欲高める直売所

4月20日、物産館敷地内の直売所「ふるさとショップ」で、今年度の開店を祝う式典が行われました。主催は、同直売所利用組合(舟山弥一郎組合長)と西置賜ふるさと森林組合(井上南代表理事組合長)。舟山組合長は「新たに導入したレジシステム(販売状況を1日2回組合員に通知)を活用して、100名を超える組合員と共に、新鮮で魅力的な品ぞろえでお客様をお迎えしたい」とあいさつ。式典後に、抽選会や豚汁の振る舞いが行われ、多くの買い物客でにぎわいました。

まちかど



スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域のできごとを1枚の写真でご紹介します

4/7



第53回飯豊ロードレース大会
(飯豊中学校周辺)

4/6



春の交通安全県民運動長井地区
出発式 (長井警察署)

4/20



四季の歌“春うた”を歌うつどい
(あ～す)

4/14



町スポーツ少年団合同入団式
(町民スポーツセンター)

4/12



春の交通安全「しっかり止まってはっきり確認
街頭キャンペーン」(物産館前の国道113号)

4/25



町スポーツ振興賞授与式
(東部地区公民館)

4/25



第二小学校6年生町民プールへ
EM菌投入 (町民プール)

4/21



部落長等会総会
(あ～す)

4/30



雪室じゃがいも等栽培研修会
(中津川地区公民館)

4/30



高齢者サークルいきいき教室の
「交通安全教室」(白樺地区公民館)

4/26



町食生活改善推進委員連絡協議
会総会 (物産館)

米沢牛枝肉共励会

長谷部泰夫さん生産の黒毛和牛が最優秀賞

4月4日、米沢市食肉市場で米沢牛枝肉共励会が行われ、萩生の長谷部泰夫さんが生産した黒毛和牛(雌)が見事最優秀賞に輝きました。出荷した枝肉は、一キロ当たり6005円の高値で競り落とされました。ほかに本町からは、手塚敬さん(黒沢)と高橋啓さん(小白川)の肥育牛が、優良賞(5位相当)に選ばれました。

長谷部さんは20歳から肉用牛の肥育を始め、既に50年以上のキャリア。父から代を引き継いだときの頭数は1頭でしたが、現在は4頭を肥育しています。稲作



「餌は定時に。まじりつけなしの自家製わらは、安心して与えられます」と語る長谷部さん

畜産家の熱意とおいしい水が、飯豊の牛の質を高める

も言い、牛の餌となるわらは自分の水田で確保しています。

「選ばれたときはとても驚きました。一度は(賞を)取ってみたいと思っていましたが、まさか実現するとは」と受賞時を振り返ります。

肉質の良い牛を育てるために、ひまを見つけては畜舎に行き牛にブラッシング、そして、えさの量と配合には気を付けているとのこと。

さらに、「70歳になってやっと牛の育て方がわかってきた気がする。今回の受賞を機に、もうひと頑張りです」と笑いながら話します。

全国どぶろくコンテスト入賞

株式会社 緑のふるさと公社



杜氏の高橋千佳さん

アルコール度数を抑えたスッキリとした飲み口

3月14日、鳥取県伯耆町で開かれた第8回全国どぶろく研究大会において「どぶろくコンテスト」が行われ、株式会社緑のふるさと公社の「中津川のどぶろく」が淡麗の部で入賞しました。同大会は、全国のどぶろく製造者が一堂に会し、製造技術の研鑽と交流を目的に毎年開催されています。コンテストは濃芳醇と淡麗の部で行われ、全国から両部門合わせて過去最多となる114銘柄(前回77銘柄)が出品されました。

同社社員で杜氏の高橋千佳さんは、「入賞できて素直にうれしいです。雑味が出ないように、温度管理を徹底しました。今年度は、町がどぶろく特区に認定されて10年の節目。定番のどぶろくに加え、個性のある突き抜けたどぶろく作りにもチャレンジしたいです」と、受賞の喜びとともに今後の抱負を話してくださいました。

もっとおいしく。限りなき向上心

直伝おふくろの味



かむほどに染み出すうま味

シヨウガの佃煮

【材料】

◇皮をむいたシヨウガ	
◇昆布	5
◇炒りゴマ	6枚
◇かつお節	1袋
◇砂糖	
◇しょう油	
◇みりん	
	150 cc
	300 cc
	500 ムグラ
	60 ムグラ
	50 ムグラ

【作り方】

- ① シヨウガを1cm四方の薄切りする。
- ② 鍋に、シヨウガと塩（ひとつかみ）を入れて軽くもみこみ、15〜20分置いておく。
- ③ 白い水が出なくなるまでシヨウガを洗ったら、かぶるくらいの水を入れてゆがく。
- ④ 薄黒い水が出てきたらお湯を捨て、もう一度これを繰り返す。
- ⑤ 戻した昆布を1cm四方に切つて鍋に加えたら、砂糖・しょう油・みりんを入れて煮る。
- ⑥ 煮汁が少量になったら、炒りゴマとかつお節を入れ、煮詰めて出来上がり。

うま味、香り、歯ざわりの
おいしい関係

小白川地区
食生活改善推進員
高橋 冨子さん

この料理は、ご近所の方から教えていただきました。

かつお節は、削りが細かいものを使ってください。長めに削られたかつお節をそのまま使うと、食材とまんべんなく絡まらずに玉になってしまいません。長めものは、鍋で乾煎りしてから手で揉むと、簡単に細かくなります。昆布からかむほどに染み出るうま味、シヨウガの香りとシャキシャキとした食感が食欲を刺激し、ご飯のお供はもちろんです。お酒のつまみにもなります。

この料理は、一度にたくさん作った方がおいしく出来上がるようです。以前、教わったレシピの半分の量で調理してみましたが、いつもの味にはなりませんでした。

シヨウガの皮むきに手間がかかりますが、そろえる食材は少なく、調理手順も簡単です。ぜひお試しください。



こどもみらい館の予定表
(5月・6月の日程)

- 5月22日(水) 10:30～ かんがるー広場
- 23日(木) 10:00～ タッチケア
- 29日(水) 10:30～ 親子リトミック
- 30日(木) 10:30～ 手づくりおやつクッキング(要予約)
- 6月5日(水) 10:00～ 親子エクササイズ教室
- 6日(木) 10:30～ おはなし広場
- 12日(水) 10:00～ 親子エクササイズ教室
- 13日(木) 10:30～ あそびの広場・避難訓練
- 19日(水) 10:00～ 親子エクササイズ教室

手づくりおやつ
クッキング

5月30日(土) 10:30～

料理名人のあやこばあちゃんから、笹巻き作りを習います。
24日まで要予約。

episode

子育て応援
kosodate
ouendan 談

囲めば加わるエピソード
「家族のお気に入り」

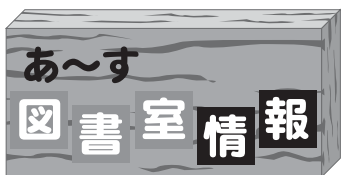
我が家では、子どもたちが大きくなり、また、近頃はスマホや携帯電話で写真やムービーを撮るため、以前よりアルバムに収める写真が減った。

アルバムの写真には、子どもたちが生まれた頃から、どんな言葉を発し、どんなハプニングがあったかなど、エピソードも添えている。ある日家族で長女の写真を見ているとき、「お姉ちゃんのこの顔変だよ」と私が言うと、主人に「お母さんもこういう顔してるよね」と言われ、子どもたちも深くうなづいた。思わず「うそー！」と恥ずかしい思いに駆られたが、あまり悪い気もしなかったのを覚えている。

携帯機器が普及してお気に入りの写真を個人が所有する時代になったが、時にはその写真を家族で囲んで、新たなエピソードを加えてみては。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日
利用時間/8:30~12:00、13:00~17:00



今月の
おすすめ図書



児童図書

えんそくおにぎり

宮野聡子/作 講談社

今日は遠足の日。お弁当を持って山登りに行きます。きみちゃんは大好きなおにぎりをお母さんと一緒につくることができました。うまくにぎれるかな？ 行事と食べものよみきかせ絵本。



児童図書

しろくまのパンツ

tupera tupera/作 ブロンズ新社

パンツをなくしてしまったしろくまさんは、ねずみさんと一緒にパンツを探します。おしゃれなしましまのパンツ、花柄のかわいいパンツなど、穴のあいたページからいろいろなパンツが現れますが…。



一般図書

五二屋傳蔵

山本一力/著 朝日新聞出版

黒船来航に揺れる江戸深川の質屋の伊勢屋を訪れるのは本当に金に困った客、盗品を持ち込む輩、そして襲撃を企む盗賊…。主の傳蔵が鋭い洞察力と深い情を持って悪事に挑む。



一般図書

かんかん橋を渡ったら

あさのあつこ/著 角川書店

嫁入りや出征を見送ったかんかん橋を渡れば、寂れた温泉町の津雲。町の食堂「ののや」に集まる人々に襲いかかる不況と別れ。それをふきとばせるのは、母の強さと、温かい涙…。

- 開館時間 午前9時～午後6時(5月～10月)
※土・日曜日は午前9時～午後5時まで
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ〜す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



昔話

いいで昔語りの会

- ◆会長／鈴木洋子さん(手ノ子)
- ◆会員／6名
- ◆練習／毎月第1木曜日に西部地区公民館で
- ◆会員募集対象
経験・年齢・性別・住所を問わず誰でも

●いいで昔語りの会への入会・見学などのお問い合わせは、飯豊町観光協会まで☎86-2411

◆クラブのピーアール

いいで昔語りの会は、方言を交えた昔話を町の新たな魅力として位置づけ、観光客に提供するため平成13年に設立しました。現在は、観光客のみならず、町内の学校や幼児施設、イベントなどに招かれて披露しています。定番のものから町に関することなどレパートリーは豊富。聞き手の年齢や関心事に合わせて、披露する昔話を決めています。自主練習では、自分の語りをカセットテープなどに録音しては聞き返し、より伝わる表現を模索しながら、技術を磨いています。「方言の心地よい響きで、飯豊をより身近に感じていただければ」と鈴木会長は話します。



鈴木会長にとって
昔語りとは…

聞き手との間に生まれる
ほんわがした交流

◀鈴木洋子会長

連載 随想

町長の思つて歩き

46

後藤 幸平



「想定外」

いつの間にか還暦を過ぎて、もはや役所には自分より年上の人はいない。そんな分がきつたことであっても、あらためてその現実に出会うとある種の感慨を覚えずにはいられない。十二年で一回り。それを五回繰り返して、さらに二年の月日を重ねたことになる。世の中というものはこういうものだ、このままの状況だとうなると、大体の予測がつく、そう思っていた。が、しかし、現実とは違っていた。

まず、髭剃り。男の身だしなみだ。誰もが毎日手にするものである。その売り場が捜せない。そんな馬鹿なことがあるかと思いつつ、仕方が無く聞いた。あった。いつもの売り場ではない。売り場を移す店側の意図は何であろうか、と計りかねながらいつもの替え刃を買った。いや買ったはずだった。もう一つ、洗剤を買った。自分で食器を洗えば気付く。瞬時に「クキツ、クキツ」と油成分を洗い流せる洗剤が欲しい。環境への配慮は大事だ。だが、いつまでもヌルヌルして落ちが悪い洗剤では困る。だから、最新のものを買った。

山形市内で酒席がある日、帰りのことを考え、汽車で出かけることにした。慌てていたのだろう小銭の財布を忘れた。萩生から今泉までの料金は身体からカバンまでひっくり返してなんとか払った。山形鉄道への乗り換えに待ち合わせ三分、今泉駅の階段を走って山形までの切符を求めようとしたものの、駅員がいない。大声で読んだら二番線のホームにいた。列車が来るから早く乗って中で切符を買って欲しいという。一万円札で買えるだろうか、赤湯駅に着くまで気が気でなかったのである。幸いにも車掌兼運転手さんの計らいで事なきを得た。

分かっていふことと、出来ることは別物だ。還暦を過ぎてな想定外の出来事の連続である。ましてやこの春、新天地に旅立ったたたくさんの若者たちよ、町長だつてそうなのだ。初めての体験、分からない事の数々、戸惑いと躓き。挫けずにガンバレ。

健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。



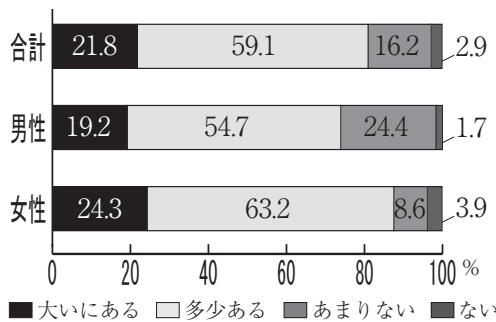
今月の
テーマ

- ・ ストレス
- ・ ストレッチ

休養とこころの健康

町では、2月に健康と生活習慣に関するアンケートを実施しました。このアンケートの結果、8割を超える方がストレスを抱えていると答えており、そのうち21・8%の人が大いにストレスがあると感じていることがわかります。そのほとんどが、ストレスを解消できていないようです。

ストレスを抱えている割合



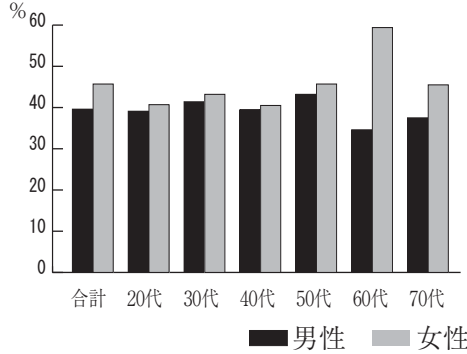
積極的な休養と良質な睡眠

質のよい睡眠はうつ病予防とも深い関係にあり、心の健康を保つことができます。良い眠りのためには、眠る1、2時間前から脳をリラックスさせることが大切です。テレビを消しゲームを止めて、早めに静かな環境をつくりましょう。

睡眠は、時間よりもどれだけ熟

睡眠は、時間よりもどれだけ熟睡できたかという、質のほうが必要であるといわれています。日中眠気がなく、普段の生活をするのに問題がないことが大切です。左記のグラフは睡眠が十分に取れていない人の割合を示したものです。約4割の方が十分な睡眠がとれておらず、特に60歳代の女性では約6割にも上ります。忙しい毎日の中で睡眠時間を削っていませんか。

睡眠が十分に取れていない割合



余暇を楽しみましょう

ストレスと上手に付き合うには、自分にあった対処法を持つておくことが大切です。

趣味やスポーツ、地域活動など普段の生活から一歩離れた時間を過ごすことで生きがいを見つけ、こころに余裕を持つことができます。

体を動かそう

雪も消えて、あたたかい春になりました。冬の間運動不足だった方も、これから体を動かしていきましょう。ただし、急に激しい運動をすると、体をこわすことがあります。運動を始める前に、ストレッチで体を慣らしましょう。

◆ 簡単ストレッチ

○ 肩

- ① 片方の手で反対側の肩、耳、頭をさわる。左右交互に2〜5回行う
- ② 首をすくめて両肩を上下にゆっくり動かす。2〜5回行う

腕が上がりにくくなっていますか？

○ 腕と胸

- ・ 肩を下げた状態で、腕を八の字に広げる。手のひらは前に向ける
- ・ 腕を後ろに広げて胸を張る。10〜30秒この姿勢を保つ

胸を張って深呼吸。

◇ 留意点

- 息を止めずに、呼吸しながら行いましょう。
- 痛くない範囲で行いましょう。
- 伸ばしている体の部位を意識して行いましょう。

飯豊町役場

電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

第25回いいで黒べこ祭り
前売り券を販売します

最高級の飯豊産米沢牛を準備し、皆
さんのお越しをお待ちしています。

◆日時／7月7日(日) 11:00～14:00

※雨天決行

◆場所／どんでん平ゆり園

※入口は正面北側の専用ゲート

◆イベント内容

こくわワイン・どぶろく・地酒の振
る舞い、豪華景品大抽選会など

◆前売り券／ファミリーセット(4名
分) 13,000円 ※牛肉・野菜・つや
姫おにぎり・飲み物セット

○販売日／5月20日(月)から

○購入先／J A山形おきたま飯豊支店、
畜産団体の役員の方、町観光協会、
ゆり園、役場農林振興課

◆問合せ先／役場農林振興課農業振興
室☎72-2111内線263、264

森の案内人養成講座
受講者募集

◆開催日／6月8日(土)～9日(日)宿泊無し

◆場所／山形県源流の森センター

◆募集対象／高校生以上の方で、森づ
くり活動などに興味があり、休日な
どに源流の森でボランティア活動が
可能な方。または、森へ関心・興味
のある方、スキルアップを目指す方

◆定員／25名程度(先着順)

◆内容／○自然を知る講座 ○森をめ
ぐる講座 ○案内人に求められる安
全研修 ○自然を親しむ講座 など

◆受講料／無料

◆その他／研修を終了した方ご希望
の方には「源流の森の案内人」とし
て登録いただくことができます

◆申込・問合せ先／置賜総合支庁森林整備
課森づくり推進室☎0238-35-9053

カワウの銃器による駆除に
関するお願い

西置賜漁業協同組合では、川鶺によ
る魚の食害を防止するため、銃器によ
る有害鳥獣駆除を実施しています。銃
猟禁止区域においても駆除を行います。

安全には十分配慮して行いますが、
駆除エリアへの出入りの際は十分ご注
意下さい。ご協力をお願いいたします。

◆駆除期間終了日／7月9日(火)

◆問合せ先／西置賜漁業協同組合

☎0238-85-0067

女性人材育成事業
「チェリア塾専門コース」

地域社会の問題解決に向けて行動す
る力が身につく女性リーダー育成講座
を開講します。県・市町村の審議委員、
企業の管理職、起業家、NPO法人運営
者などを目指します。

◆対象／男女共同参画に関して基礎知
識のある女性 各コース20名

◆受講料／無料

◆会場／山形県男女共同参画センター
「チェリア」(山形市、遊学館2階)

◆時間／10:00～15:10

◆コース・日程／

○男女共同参画リーダー育成
6月1日(土)、7月6日(土)、9月7日(土)
他1回

○地域社会活動キャリア形成
6月8日(土)、7月13日(土)、9月14日(土)
他1回

○ビジネスキャリア形成
6月15日(土)、7月20日(土)、9月21日(土)

◆申込期限／5月24日(金)

◆その他／託児あり(要申込・無料)

◆申込・問合せ先／山形県男女共同参
画センター「チェリア」

☎023-629-7751

「森の中でピザ作りと自然
散策」参加者募集!

◆日時／6月1日(土) 9:45～14:30

◆場所／飯豊少年自然の家

◆内容／包み焼きピザ作り

森の案内人と一緒に自然散策

※天候により変更になる場合あり

◆対象／幼児から小学生とその保護者

※子どもだけの参加はできません

◆定員／50名

◆参加費／一人250円

◆持ち物／飲み物、雨具、タオル、野外
活動に適した服装、履物、帽子など

◆申込期限／5月24日(金)

◆申込・問合せ先／あ～す☎72-3111

「刈込み講習会」
参加者募集!

◆日時／6月4日(火)～7日(金)

9:30～15:00

◆場所／○4日(座学)：シルバー人材
センター事務所(長井市)

○5日～7日(実技)：長井市内

◆内容／防除・肥料などの講話と実技

◆対象／57歳以上の方

◆参加費／1,000円程度

※ほかに実費負担あり

◆申込期限／5月31日(金)

◆申込・問合せ先／(公社)長井・西置賜地
域シルバー人材センター☎84-4535

多重債務相談窓口

東北財務局山形財務事務所では、多
重債務相談窓口を開設しています。お
困りの方は、まずはお電話を。相談は
秘密厳守・無料です。

◆相談専用電話／023-641-5201

◆場所／山形財務事務所(山形市)

◆受付／月～金(祝日、年末年始除く)
8:30～17:15

こせきのまど
戸籍の窓

(4月届け出分)

お誕生おめでとうございます
住所 氏名 ご両親

松原 舟山 暖 真くん (実美 智)
萩生 佐藤 健 太くん (昭合 智百)

心からおくやみ申し上げます
住所 氏名 年齢

手ノ子 町上 今 則 雄さん 78
萩生 譚粉 小 浦 キヌさん 100
添川 中洞 横 澤 憲 一さん 79
萩生 中/舗 後 藤 はるさん 93
岩倉 長谷崎 きせさん 89
松原 菊 地 要 一さん 81
萩生 町上 伊 藤 幸三さん 82
椿 財津堂 横 山 幸子さん 86
手ノ子 八幡 村 上 さのさん 85
添川 上町 遠 藤 ふみさん 97
黒沢 高柳 金 田 孝 さん 77

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

4月分 () 内は対前月比			
世帯数	2,406 (4)	転入	20
人	男	3,855 (-11)	転出
	女	4,083 (- 6)	出生
口計	7,938 (-17)	死亡	15

交通災害共済
加入更新のお知らせ

交通災害共済は、町民の皆さんが会費を出し合って、交通事故に遭ったときに見舞金を贈るなど、お互いに助け合う制度です。自転車の事故も支給の対象となります。

- ◆加入できる方／町に住民登録をしている方。ただし、学生の場合は、他市町村に住所を有する場合も加入可
- ◆申込期間／6月3日(月)～28日(金)まで
※申込期間が過ぎても随時加入可能
- ◆共済期間
平成25年7月1日～翌年6月30日
- ◆共済会費／1人当たり400円
- ◆その他
申込書は5月末に全戸配布予定
- ◆申込・問合せ先／役場住民税務課生活環境室 ☎72-2111内線132

置賜総合支庁
「職員出前講座」のご案内

総合支庁の職員が、皆さんの集會や学習会にお伺いし、身近な話題から県で重点的に取り組んでいる各種施策などについて説明します。

- ◆内容／次の4分野、57テーマ
○くらし・保健福祉 ○自然・環境
○置賜地域の産業 ○県政一般
- ◆費用／職員の派遣費用や資料代はかかりません。ただし、原材料費、有償配布物、会場使用料などを除きます
- ◆対象となる集會／学校や自治会、NPOなどの地域の方が参加する集會。ただし、営利目的や政治・宗教に関する集會などは対象外
- ◆参加定員／定めておりません
- ◆申込方法／希望日の3週間前までに、総務課に申し込み
- ◆申込・問合せ先／置賜総合支庁総務課 ☎0238-26-6100FAX0238-24-1402

緊急雇用創出事業の
実施事業者募集

町では、失業者の雇用や就業機会の創出および人材育成を図るため、事業の委託先(民間の法人、NPO法人など)を募集しています。

- ◆委託する事業
- 産業人材育成支援事業
町内企業への継続的な就労および町内への定住を促進するため、技術や知識に関する研修などを行い人材育成を図る
- 農業担い手育成支援事業
農作物の生産・販売・経営技術などの基礎研修を通じ、自立的な農業経営者の育成を行う
- ◆主な条件
- ハローワークに求人申し込みをし、新たに失業者を雇用すること
- 原則として、社会保険・雇用保険に加入すること
- 新規に雇用する失業者の件数費割合が、事業費の1/2以上であること
- 本事業を活用しての雇用期間は、平成26年3月31日までであること。ただし、事業終了後も継続的な雇用が見込まれること
- 建築・土木事業は対象外
- アルバイト・パートは対象外
- ◆申込方法／計画書を作成のうえ提出
- ◆申込締切／5月31日(金)
- ◆委託費／予算の範囲内で委託金額を決定
- ◆申込・問合せ先／役場商工観光課産業連携室 ☎72-2111内線267

やまがた森の感謝祭2013

- ◆日時／6月1日(土) 10:00～15:00
- ◆場所／いこいの森(寒河江市)
- ◆内容
- 森づくり活動(下刈り、チップ敷きなど)
- 体験コーナー(木工クラフト、ネーチャージームなど)
- 森の大抽選会(うれしい景品いっぱい)
- 物販コーナー(山菜など盛りだくさん)
- ◆申込／森づくり活動のみ、事前に申し込みが必要
- ◆その他／参加費無料。どなたでも参加できます
- ◆申込・問合せ先／やまがた森の感謝祭2013実行委員会(村山総合支庁森林整備課) ☎023-621-8156

◇今月12日、「第31回全国白川ダム湖畔マラソン大会」が大勢のランナーを迎えて開催されました。晴天に恵まれ、新緑、桜、湖面、青空など、周囲の自然の色は一層鮮やか。会場には観光物産市が設けられ、レース終了後には、目当ての物産を買い求めるランナーたちで長蛇の列。物産市の中に、大規模林道飯豊松枝岐線につながる喜多方市からの出店がありました。商品の中で、目を引いたのは「当地グルメ」喜多方ラーメン「バーガー」。帰りがけに一つ購入し、アツアツを味見。深化する交流を味覚で実感しました。(かつみ)



本コーナーでは、町・県指定の文化財や史跡、天然記念物などについて、所有者や管理者などのインタビューと共に、詳細な解説を掲載してきました。

平成22年10月号から始まった本コーナーは今年の3月号で30回を数え、開始当初に掲載を予定しておりました「町宝」は、すべて紹介いたしました。

実際に現地を訪れて、町の誇るべき宝をご覧になっていただきたく、前回から3回シリーズで所在地図と共にダイジェスト版で紹介しています。
第2回目は椿地区と手ノ子地区です。



木造薬師如来坐像 平成25年1月掲載



本長寺の板碑 平成23年5月掲載



椿念仏踊り 平成23年9月掲載



大福寺山門 平成24年2月掲載



行屋 平成24年6月掲載



手ノ子八幡神社獅子舞・神輿行列 平成22年10月掲載



宇津峠の道普請供養塔・馬頭観世音碑 平成22年11月掲載



文禄三年小坂村検地帳 平成23年2月掲載



鷹名処図 平成24年3月掲載